

実施日

2021年7月1日(木) 午前の部

参加校

110人の児童の皆さんに参加いただきました!

【山形県】 飯豊町立第二小学校	5・6年生	27人
【栃木県】 栃木市立小野寺小学校	5年生	16人
【東京都】 国分寺市立第一小学校	5年生	35人
【大阪府】 堺市立浜寺小学校	6年生	32人



アンケートより

学んだこと

- ・流す映像によって違う印象をもたらすことを初めて知りました。
- ・これは正解、間違いというのはなく、人それぞれによって感じ方が違う。
- ・何でもかんでも(画像)加工はしたらいけないし、受け手もそれを信じすぎてダメだということ。

参加した感想

- ・自分だけじゃ考えられないことも聞いて楽しかった。
- ・他の学校と意見を伝えあうことは様々な意見が出てくるので思いつかない意見があり、とても楽しく自分の意見を見直すこともできました。
- ・今はコロナで他校と繋がるのが難しいなか、東京や山形、栃木の人たちとつながることができて楽しかったです。

これから生かそうと思うこと

- ・送り手として(受け手の)相手がどう思うかを考えてから送る。
- ・これからテレビなどを見るときに、作っている人の伝えたいことを気をつけてみるということを学んだので生かしたいです。
- ・画像など送る時は、見た人を不快にさせないようにする。見たときは全て信じず加工などを頭に入れて見る。
- ・アップとルーズではアップにただで細かいことが分かって、ルーズでは周りもしっかり見えるから場面によって使い分けたいです。

参加校の先生より

- ・正解があるわけでない課題に対して、事前に学級で話し合うことができたのは良かったと感じました。「自分はこれだと思う!」と考えていた児童が他の児童の考えに触れて、「たしかになあ!」という場面がありました。色々な考え方があることを実感したのだと思います。「自分の考え」と「他者の考え」を比較し、ミックスさせて「自分の考え」を生み出すことがこれからの学校教育に求められている部分であり、今回の課題ではその一端を見ることができたと感じました。
- ・事前学習では、メディア関係ならではの課題で、子どもたちが真剣に議論していました。そのとき、子どもたちの論点になったのが「誰の目線で作るか」だったので、課題を考える中で視野を広げるよいきっかけになったのではないかと感じました。



実施報告

実施日

2021年7月1日(木) 午後の部

参加校

109人の児童の皆さんに参加いただきました!

【山形県】天童市立寺津小学校 5・6年生 24人

【栃木県】栃木市立小野寺小学校 6年生 17人

【東京都】国分寺市立第一小学校 5年生 35人

【大阪府】堺市立浜寺小学校 6年生 33人



アンケートより

学んだこと

- ・(画像)加工は全部ダメだと思っていたけどいいところもあった
- ・アップとルーズでアップにすると詳しく知れる視点が違うし、ルーズにすると色々な様子を知ることができる
- ・もし自分が送り手だったときに受け手の方を考えることが大事と分かりました。

参加した感想

- ・色々な意見も知れてわかりやすかったです。1回1回まとめがあってわかりやすかった。
- ・他の学校の人たちと一緒に色々なことについて考えることができ良かったと思いました。
- ・面白かったが少し長かったのでまとめてほしい

これから生かそうと思うこと

- ・加工するときは、よく考えて使うべき。(受け手としては)いろんな視点から情報を読み取ることが大切だと思った。
- ・ネットなどについている情報や写真は注意してみなければならないと思った。
- ・受け取り方の「すべてが本当だと思わない」にすごく共感したのでこれからも生かしていきたい
- ・これからテレビを見る時に送り手の意図を考えようと思う。

参加校の先生より

- ・事前課題も含め、子供たちは多くのことを学ぶことができ、これからのような姿を見せてくれるのが楽しみになる授業でした。複数の情報から要点を読み解き真偽の判断ができるようになってほしいと思っています。
- ・同じ題材でも色々な意見が出たのでとても面白かったと共に考えさせられました。メディアは人々に多大な影響を与えるものなので、正しい伝え方と受け取り方をするのが大切だと改めて感じました。
- ・事前課題の内容が取り組みやすく、どの児童もよく考えて意見を言っていましたし、ワークシートがあったので当日も子供たちがメモをしようとして集中して取り組んでいました。また、他府県の児童と一緒に学習することで、地域の違いや感じ方の違いなど、多様性を感じることができたようです。



進行役・石井隆広アナウンサーより (午前・午後の部を通して)

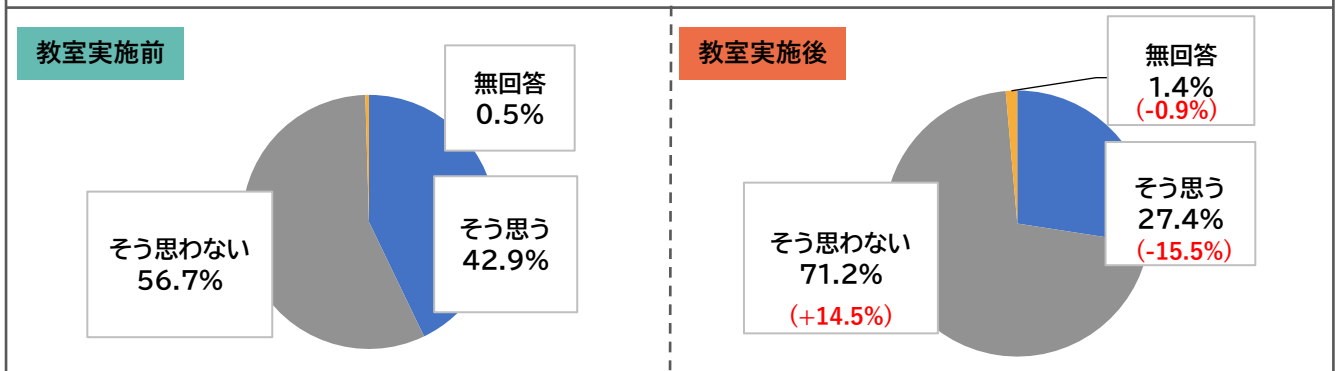
今回、初めてメディア・リテラシー教室を担当しました。まず、「そんな考え方があったか!」と子どもたちの発想力に驚かされました。そして、会話を重ねるごとに、どんどん理解して、湧き上がった新たな考えをぶつけてくれます。ありがたい限りです。子どもたちの発想についていくためにこちらも頭フル回転です(汗)。柔軟な考えを見せる子どもたちに負けないよう、アナウンサー陣もスキルを高めていきます!



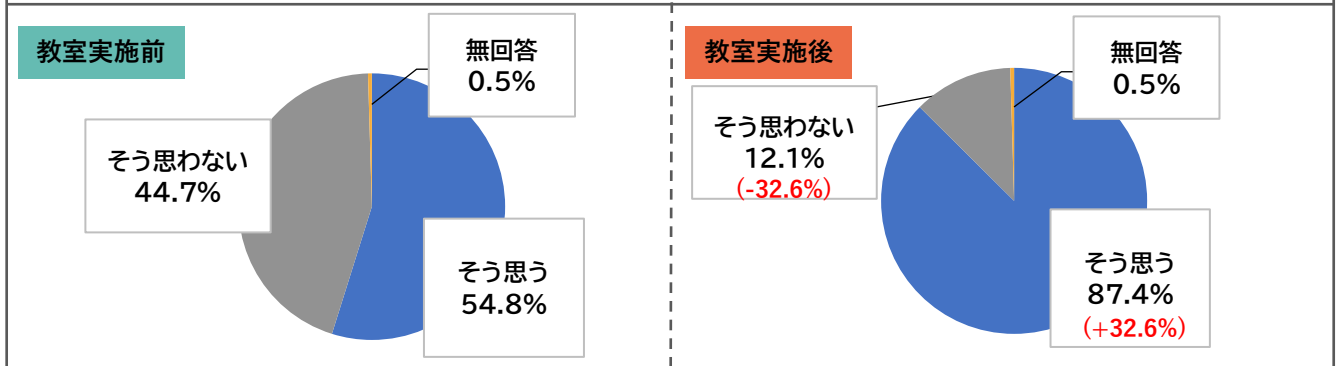
参加児童へのアンケート結果

(赤字は教室実施前との増減)

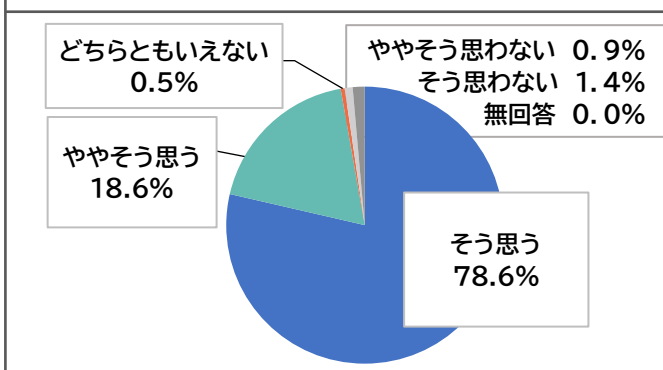
テレビ番組や動画コンテンツなどでインタビュー映像が使われる時は、かたよった印象を与えないように賛成意見と反対意見が同じ数だけ紹介されている。



観光パンフレットの写真は加工されている場合がある。



「つながる! NHKメディア・リテラシー教室」に参加してみて、楽しかったですか。



他の学校と一緒に取り組むことで、色々な考えにふれることができましたか。

